☆法第４３条第２項第２号許可基準チェックリスト

（様式⒜）

（　※　申請者の方は、太線の枠内をご記入または該当する□欄をチェックしてください。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 受付番号 |  | 同意種別 | □包括□個別 | 包括基準適用範囲 | 包 第　　号 | 整理番号 |  |
| 申請者 |  | 省令基準該当番号□①広場等　□②農道等　□③通路等 |
| 敷地の位置 | 川西市　　　　　　　　　　　 | ③の場合 | □ 赤色の道等□ 河川等□ 桃色の道等□道路に接する巾２ｍ未満 |
| 道・空地の有効幅員〈敷地から道路まで〉 | 最小幅員　[　　　　　　　　　ｍ]（河川を介する場合、河川の幅員）（敷地前面部分の最小幅員　　　　　　ｍ） | 最小幅員（巾）・　　　　ｍ |
| 前提条件 | 通行等の確保 | □通行可能で、道・空地管理者の通行承諾が有。□現に一般通行の用に供されている状態である。□河川等を介する場合、占用許可が有。□接道巾２ｍ未満の場合、２方向避難通路の確保。 | 通行等の確保* 適　　□ 不適
 |
| 敷地面積 | ㎡ | □５００㎡未満　　　　□５００㎡以上 |
| 敷地が道等に接する巾 | ｍ（県条例による接道４ｍ以上　　□必要　□不要） | □２ｍ以上または県条例による巾以上□２ｍ未満（県条例に満たない場合、知事の承認に注意） |
| 空間確保 | 中心後退、２ｍ（対側が河川等の場合、一方後退４ｍ） | □有□無 | ◆無しの場合□前面道路４ｍ以上有□過去に後退済□河川等で対側が一方後退□その他（　　　　　　） | □ 必要　　　□ 不要 |
| 建築物計画概要 | 建築物の用途等◆用途地域地域◆建ぺい率制限％◆容積率制限％（幅員による容積率制限に注意） | 建築物の用途 | 用途 | □戸建住宅　□小規模の倉庫等（兼用住宅含む） |
|  | 建築面積 | 延べ面積 |  | □長屋住宅□共同住宅　□店舗等（共同住宅以外）□その他　（　　　　　　　） |
| 申請部分 | ㎡ | ㎡ |
| 申請外部分 | ㎡ | ㎡ |
| 合計 | ㎡ | ㎡ | 建ぺい率制限□適　　□不適 | 容積率制限□適　　□不適 |
| 建ぺい率％ | 容積率％ |
| 規模（階数） | 地下　　　階　・　地上　　　階 | □２階以下　　□３階　　□４階以上 |
|  | 構造 | 　　　　　　　造　一部　　　　造 | □準耐火建築物以上□耐火仕様　　　　□その他 |
| □耐火建築物　　□準耐火建築物□準防火仕様　　□その他 |
| 工事種別 | □新築□建替等□増築 | 既存建物　□有　□無◆既存建物が有の場合、・用途変更　□有　□無・戸数増加　□有　□無 | □新築　　　　　既存建物　有□建替等　　　　用途変更　無□増築　　　　　戸数増加　無 |
| 形態制限 | ◆道路（空地）斜線チェック　　　 □済（ｾｯﾄﾊﾞｯｸ緩和　　□適用　　□不適用）　　　　　 　・・・・・・断面図に明示◆幅員による容積率制限チェック 　□済（前面幅員　　　　ｍにより　　　 　％） | ◆道路（空地）斜線　；　□適　□不適（ｾｯﾄﾊﾞｯｸ緩和　□適用　□不適用）◆容積率制限　　　；　□適　□不適 |
| 戸数制限（長屋・共同住宅の場合） | 計画戸数戸 | 従前戸数（建替時）戸 | □長屋住宅の新築で開発指導要綱による戸数制限以下□既存建築物の建替で従前の戸数以下 |
| 袋路状通路の延長距離制限（長屋住宅新築の場合） | 道路から敷地まで（配置図参照）ｍ | □３５ｍ以下□３５ｍ以上 |
| 備考 |  | □長屋住宅の新築の場合は、延べ面積３００㎡以下で、かつ桁行が２５メートル以下のもの□接道巾２ｍ未満の場合は、１．５ｍ以上＋０．７５ｍ以上の２方向避難確保・道路扱いしていない通路（桃色の道等）で、４ｍ未満の場合、□通り抜けしている。　□過去においてただし書き適用あり。 |

既存建築物及び道（空地）の状況調書

（様式⒝）

1. 申請敷地・既存建物について

|  |  |
| --- | --- |
| 敷地の地名・地番 | 川西市 |
| 既存建物の状況調査 |  | 用途 | 構造 | 階数 | 延べ面積 | 登録年月日 | 確認年月日・番号 | 今回除却 |
| 例 | 専用住宅 | 木 | ２ | 30.00 　　　　㎡ | S50.4.1 | S50.7.7・150 | する |
| 例 | 車庫 | RC | １ | 30.00 ㎡ | S50.4.1 | S50.7.7・150 | しない |
| １ |  |  |  | ㎡ |  |  |  |
| ２ |  |  |  | ㎡ |  |  |  |
| ３ |  |  |  | ㎡ |  |  |  |
| ４ |  |  |  | ㎡ |  |  |  |
| ５ |  |  |  | ㎡ |  |  |  |
| 備考 |  |

1. 敷地から道路までの道（空地）について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 道路の地名・地番 | 地目 | 面積（㎡） | 所有者　住所・氏名 |
| 例 | 中央町〇〇番△△ | 公衆用道路 | 100 | 川西市中央町□□番◇◇号　〇〇 〇〇 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |
| ６ |  |  |  |  |
| ７ |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |
| ９ |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |
| 道路の地番 | （法４２条第　　項　　号道路） |  |  |  |
| 備考 |

注）原則として敷地前面から道路までの道（空地）に該当する番地について、別添の字限図と参照しながら調査記入すること。

参考様式

|  |
| --- |
| 説　明　経　過　報　告　書 |
| 　次の道・空地の所有者に対し、将来にわたって通行することについて説明し、承諾を得たことを報告します。年　　月　　日（報告者）　　　　　　　　　　　　 |
| 道　　・　　空　　地　　の　　所　　有　　者 | 道・空地の土地の地名地番 | 説明日 | 住　　　　　所 | 氏　　　　名 | 説明に対する反応 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 特記事項 |  |

|  |
| --- |
| 誓約書年　　　月　　　日　　川西市長　様このたび川西市において、法第４３条第２項第２号許可を受け、建築するにあたり下記のことを誓約します。記1. 建築基準法及び建築基準条例その他関係法令を遵守します。
2. 許可の条件については、必ず厳守します。
3. 許可の条件において現状敷地部分に後退が必要な場合は、後退部分に存在す

る門・塀等を撤去し、一般の通行の用に供する道状態に整備します。また、道（空地）後退線を縁石等の構築物で明確にし、後退プレートを設置いたします。なお、後退部分は将来にわたり建築物（門・塀含む）及び工作物等を築造いたしません。1. 建築工事に着手する場合には、監理者・施工者に許可条件等を周知させ厳守するように申し伝えます。また、工事が完了した時は必ず完了検査を受けます。
2. 敷地から道路までの道（空地）の幅員について、将来にわたり現況（後退が必要な場合は後退後）の幅員以上を確保するように努めます。
3. 当該建築物及び敷地売却または賃貸する時は、上記の事項を被承継人に申し継ぎます。

建築主　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　 　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）設計者　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　 　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※）施工者　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　 　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※） |

（※）法人の場合は、記名押印してください。法人以外でも、本人（代理者）が手書きしない場合は、記名押印してください。